

石教研数学部会第二次研究協議会を終えて

【研究協議会の様子】

・公開授業

研究テーマである「思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくり」をもとに、継続研究の3年目となりました。今年度は石狩・当別・新篠津の数学部会員を中心に、石教研数学部会役員指導案検討を行い、3学年分の授業を公開しました。

取り扱った単元や教材は

1年生、吉田 純永 教諭【平面図形「作図】】

2年生、高橋 裕之 教諭【1次関数 「1次関数の利用】】

3年生、堀内 直樹 教諭【関数 $y = ax^2$ 「関数のまとめ】でした。

どの学年の授業も、問題や発問工夫がなされ、生徒が主体的に数学的な活動に取り組む見ごたえのある授業となりました。



・全体会

花川中学校の体育館を会場とし、研究中心グループである石狩市の推進委員の原雄基教諭から提言を頂きました。継続研究の3年目となる研究テーマ「思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくり」に沿って行われた石狩市と当別・新篠津が合同で研究授業や、第二次研究協議会当日の研究授業へ向けた指導案検討を行った様子なども踏まえた実り多い提言となりました。

部会員が一堂に会し、全体が一丸となって研究に向かう雰囲気を感じ取ることができました。





・研究協議、分科会

全体会終了後は、公開授業の研究協議、研究テーマに沿って準備された部会員作成のレポート交流、日常実践交流が行われました。いずれの場面においても参加された先生方の積極的な意見の交流が行われました。

公開授業の研究協議では、取り扱った教材が、教科書に記載されている内容ということもあり、先生方も身近な題材として捉えていた。誰もが取り扱う題材なだけに授業者の発問の工夫や数学的な活動の取り入れ方に討議が進みました。また、自分の学校に持ち帰って実際に授業をしてみたいという声も聞かれました。

レポート交流では研究テーマに沿って足並みをそろえた話し合いが行われました。研究テーマが3年目となり、部会員の共通理解も深まり、研究の視点に関わる実践のレポート交流が見られました。「問題の工夫」、「数学的な活動の工夫」については、浸透しつつある中で、「学びの統合・深化・発展」については、どういうことなのだろうかと深い議論になる場面も見られた。日常実践交流についても、効果的なICTの活用や指導と評価の一体化に関わった協議が行われていました。



【研究協議会のアンケート結果】

☆解答基準

(4 : とても有意義だった 3 : 有意義だった 2 : あまり有意義でなかった 1 : 有意義でなかった)

公開授業の参観、参観後の研究協議は有意義でしたか。

4 : 78% 3 : 21% 2 : 1% 1 : 0%

- 小グループに分けて協議したことが話しやすくて良かった。
- 1時間内で終わらせられる展開を考えさせられた
- 問題提示の仕方、発問の仕方がとても参考になりました。自分も生徒が興味をもって取り組むことのできる問題を提示していきたいと思います。
- 自分も授業でやってみようと思いました。
- たくさんのこととを提言してくれた大変有意義な研究会であった
- 数学科の先生方と意見交流ができるよかったです。
- 関数の研究授業を見ることが多いので、作図の授業はためになりました
- 非常に勉強になりました。
- 自分の授業実践の参考にしたいと思いました。
- 主体的に問い合わせるための発問の工夫について深く学んでいきたいと感じた。
- 色々な角度からご教示頂き、勉強になりました。
- 日頃の実践の様子が聞けて参考になりました。
- 準備や片付けばかりで、あまり参加できなかった。

分科会（レポート交流、日常実践交流）は有意義でしたか。

4 : 77% 3 : 22% 2 : 1% 1 : 0%

- 実践交流が特に有意義だった。
- いろいろな話題が上がって、参考になった。
- 日頃の悩みや実践を交流することができ、非常に有意義でした。
- レポート交流は人数の関係もあるので分けるべきだと思いますが、日常交流は多くの先生方との交流があるほうが良いと思うので学年で1つで良いのかなと思いました。
- 午後の分科会、学年を2つに分けていますが、1つにまとめてよいと思いました。
- 日常実践交流がとても勉強になりました。対話やICTなど、日常に活かすことのできる内容ありがとうございました。
- 教科書の訂正お願いします
- 日常の実践を交流する大変有意義な時間であった
- レポートに関連した話も大切でしたが、日々の悩みとかも聞けて良かったです。
- 楽しく実践交流ができました。ありがとうございました。
- 話題がつきなく、とてもためになりました
- 雑談的な感じになつたので、テーマなどがいくつかあったほうがいいかもと、思いました
- 来週からの授業実践したいことが多くありました。
- 日頃の疑問が解消されました。
- ICTや評価などについてかなりわいわいと意見が飛び交い、楽しく有意義な時間になった。
- 分科会が毎年間延びする場面もあろうかと思います。レポート交流はしっかりと行われているので、午後の最初にもう一つ活動があつても良いのかと思います。
- 3年生のレポートを作成したが、三年生の分科会参加が認められなかった。年度当初の申請からの変更も認めるなど、もう少し、柔軟に対応してほしい。

教育課程（進度・時数配分・単元構成）についてご意見があればお書きください。

- ・教科書以外にやることもあるのに対して授業数が足りない。
- ・2年生の授業内容に対する時数が、内容にたいして少ないと感じます。年度末、いつも定着が不十分ななか、大急ぎでなんとか教科書を終わらせています。チャレンジテストや学力テストもあるので、教科書の指導以外にも必要な時数を確保してほしいです。
- ・1年生だけ進度がよくないと感じている。素因数分解がどうにも単元構成に違和感を感じている。
- ・1年生は8月学力テストの出題範囲が広がり、内容を終わらせるのが厳しかった。ただし、これまで削除された等式・不等式は出題されなかったので、それならば、昨年度のままの表記にしてほしかったと思います。

今年度からの研究内容についてご質問などがあればお書きください。

- ・お疲れ様でした！ありがとうございました！
- ・来年度も石狩なので、日々学びたいと思います。充実した研修でした。ありがとうございました。
- ・いつも運営ありがとうございます。
- ・問題の工夫は教科書通りは工夫にならないのか（教科書自体おそらく工夫した上で問題提示をしていると思われる所以、実態など加味して、そのままでよいと判断できるものもあると思っています）
- ・運営お疲れ様でした！
- ・端末を使った学習場面の交流が増えてきましたが、端末が研究に効果的に生かされているか確認していくよいと思いました。午後の分科会の一部を、端末のツールのワークショップを行い、参加者が共通理解のもと議論できれば、さらなる授業の質の向上につながると思います。

【石教研 2次研究協議会のアンケート結果を受けて】

アンケートへのご協力ありがとうございました。公開授業および研究協議については、全体として高い評価をいただきました。事務局では、実技理論研修会の実施や中心グループ（石狩・当別・新篠津）との連携を図りながら運営を進めてきました。

公開授業では教科書の題材が扱われ、参観した先生方からは、発問の工夫や1時間の授業構成が参考になったという意見が多く寄せられました。一方で、第2次研究協議会の運営については、中心グループとの連携を一層図り、会場校の負担軽減を検討していく必要があると考えています。

分科会でのレポート交流や日常実践交流についても高い評価をいただきました。内容面に関しては、交流方法やテーマ設定について再検討を求める意見もありましたので、次年度の運営に生かしていくきます。また、教育課程に関しては、学習内容に対して時数が不足しているという指摘がありました。どこに時間を重点的にかけるか、まとめて指導できる内容はないか、指導書をそのまま踏襲するのではなく、生徒の実態に応じた単元構成を検討することが必要だと考えています。部会員同士で、実践の工夫を共有できればと思います。

また、今年度も「数学の窓」を発刊します。先生方には、第2次研究協議会のレポート提出と同様に、Google ワークスペースに日常実践レポート（内容・形式は自由）をご提出いただきます。期日等が決まり次第、部会だより・HP・c4th にてお知らせします。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。